

令和7年度事業報告

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、会員が豊富な経験と知識、技能を生かしながら健康を保ち喜びと生きがいをもって、地域社会に参加し、貢献してまいりましたが、会員の高齢化、独自事業の拡大等、多くの課題をかかえている状況が続いております。

この状況を打開するために新会員の加入と就業機会の拡大を最重点目標に掲げ、シルバー事業の普及を図るための啓発活動を積極的に実施しましたが、企業の雇用年齢の引き上げ、会員の高齢化により、会員数については昨年度より減少する結果となりました。

また、高齢者が生涯現役で活躍し続けられるよう就業機会の提供と確保に努めましたが、契約金額については前年度を下回る結果となりました。

このことから、今後においては、会員の安全対策に取り組み、就業機会の拡大を図るとともに、会員の増加についてはセンターの活性化を図るうえで必要不可欠であることから、引き続き最重要課題として取り組んでまいります。

1 事業の普及啓発

- (1) センターの機関紙「シルバーだより」を8月と1月の年2回市広報紙に折込み市内全世帯に配布し、センターの普及啓発に努めました。
- (2) 市広報「北名古屋」に、会員募集などの情報を提供し、センター事業の普及啓発に努めました。
- (3) 10月のシルバー会員・就業拡大強化月間においては、啓発看板やマグネットシート等により会員募集と就業開拓に努めました。
- (4) センターのホームページを随時更新し、シルバーの啓発に努めました。
- (5) 北名古屋市循環バス車内及び公共施設に会員募集ポスターを掲出し、会員の拡大に努めました。

2 組織の状況

- (1) 令和7年度は、入会者51名、退会者74名（うち物故者6名）で、年度末会員数は600名となり、昨年度より23名減（前年度比3.7%減）となりました。これは、昨年同様、7月、10月「会員紹介カード」による全会員「新会員一人確保」運動を展開したが、会員の高齢化が影響したと思われます。また、退会された会員の内、病気・高齢の理由で退会された会員は半数以上（52.7%）を占めました。

- (2) 入会説明会を、年間 12 回（毎月第 3 水曜日）開催し、シルバー人材センターの役割、仕組み、安全就業、就業基準等について説明するとともに、理事 2 名が参加し、先輩会員としての経験談等を話し、入会促進を図りました。
- (3) 市社会福祉協議会、市老人クラブ連合会などの団体に働きかけ入会案内や事業協力を進めました。

3 事業実績

- (1) 事業の契約金額は、2 億 6,441 万円で、前年度に比べ 1,883 万円減（6.6%減）、また、配分金の総額では、2 億 538 万円で、前年度より 1,318 万円減（6.0%減）となりました。

年間就業延人員は、6 万 4,667 人で、前年度より 4,919 人減（7.1%減）となりました。

区分 年度	契約金額 (万円)	配分金収入 (万円)				年間就業 延人員 (人)
		事業所	公共	一般家庭	独自事業	
令和 6 年度	28,324	5,463	10,754	4,839	800	69,586
令和 7 年度	26,441	5,386	10,026	4,556	570	64,667
増 減	△1,883	△77	△728	△283	△230	△4,919
前年増減比	△6.6%	△1.4%	△6.8%	△5.8%	△28.8%	△7.1%

- (2) 愛知県シルバー人材センター連合会北名古屋市事務所としての一般労働者派遣事業の契約金額は、3,516 万円で、前年度に比べ 440 万円増（14.3%増）、また、会員賃金の総額では、2,801 万円で、前年度に比べ 381 万円増（15.7%増）となりました。

年間労働者延人員は、7,313 人で、前年度より 507 人増（7.4%増）となりました。

- (3) 独自事業の女性部会は、活動拠点のふれあいの家で、布製の小物等を作製し、展示販売や総会等の記念品を受注し作製しました。

ふれあい農園部会は、各種農作物の生産を行い、市民の皆さんに販売するとともに、地産地消とシルバーの普及啓発に貢献しました。

高齢者生活支援部会は、独り暮らしの高齢者等に対する生活の手助けを行うとともに、「喫茶もえの丘」を営業し、憩いの場を提供しました。喫茶も

えの丘ではふれあい農園部会で生産した農作物の販売と店の調理材料としての仕入れも行いました。

木工部会は、東倉庫で小物等を作製し、しあわせの家にて展示販売を行いました。

- (4) センターから会員に情報提供（お知らせ、就業情報、就業依頼）の実施に、「Smile to Smile サービス」ソフトを活用しました。

4 安全・健康管理

- (1) 7月・1月の安全就業強化月間には、安全意識の高揚を図る看板を掲出するとともに、5月・7月・9月・3月には就業現場の安全パトロールを実施し、就業中の事故に対する注意喚起を呼びかけました。
- (2) 安全就業と事故防止を図るため、6月に会員から安全標語を募集し、優秀作品を発表するとともに、毎月発行の「シルバーニュース」に事故防止の喚起記事を掲載するなど啓発に努めました。
- (3) 事故発生状況は、傷害事故4件、損害賠償事故6件で、前年度と比べ傷害事故が6件減少、損害賠償事故は5件増加となりました。
- (4) 公用車運転業務年齢制度により、委員会で決定し該当者に通知しました。

5 シルバーの日式典及び互助会フェスティバル

10月18日に「シルバーの日式典・互助会フェスティバル」を開催し、会員の表彰伝達後、アトラクションとして管理栄養士による講話、カラオケクラブの歌唱、お笑い演歌ものまね及び抽選会を行い、会員相互の親睦、交流を図るとともに、市民にも参加していただき、センターの啓発を行いました。

6 福利厚生等

3月に、各地域班長が招集する地域班会議が開催され、会員相互の交流が図られました。

また、就業中における熱中症等の健康管理を呼びかけました。

7 社会奉仕活動

5月の市ごみゼロ運動に参加しました。

以下、会員状況、事業実績、事故状況等については、別表のとおりです。